

Excel2003データ抽出の操作手順

抽出プログラムの機能：

指標値型データの抜き出しプログラムは、Excelシート上にある項目一覧表の各項目の抜き出し指示にしたがってデータを抜き出す。抜き出しはRID項目の指定、データセルの指定、レコード数の指定が可能である。

Excel-VBAで作成してある（Microsoft社のExcelが必要（WindowsXP Excel2003で動作確認を行っております。））。

手順概要：

Excelを起動したのちに抽出用プログラムを開いてください。プログラム名は町丁字等別その2の場合は「SELH22KK2S(Excel97-2003).xls」になる。

プログラム起動後の処理は、次の2つのステップに分かれる。

- 1．Excel シートの項目一覧表上に抜き出しの指示をする。
抜き出したい項目に*を入れる。
- 2．抜き出し元となるファイル、抽出済み結果の保存先、最大レコード数を指示し、実行する。

補足：

町丁・字等別集計は集計値のほかに次の情報が付加されている。この情報はRID項目に記録されている。

(1) 秘匿情報

町丁・字等別集計は秘匿措置がされている。秘匿情報は秘匿地域の町丁字等コードであり、秘匿先、秘匿元の2種類の意味合いがある。秘匿についてはこの説明書の最後の項を参照のこと。

(2) 町丁字等名称

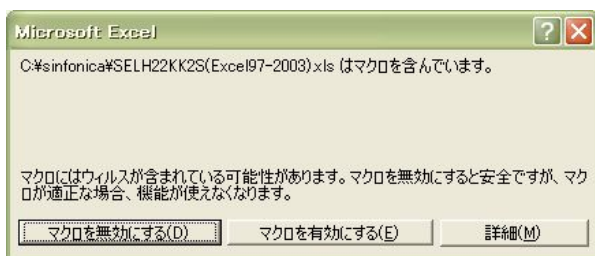
漢字の町丁字等名称を記録している。

操作手順:

1. 抽出プログラムを起動する。

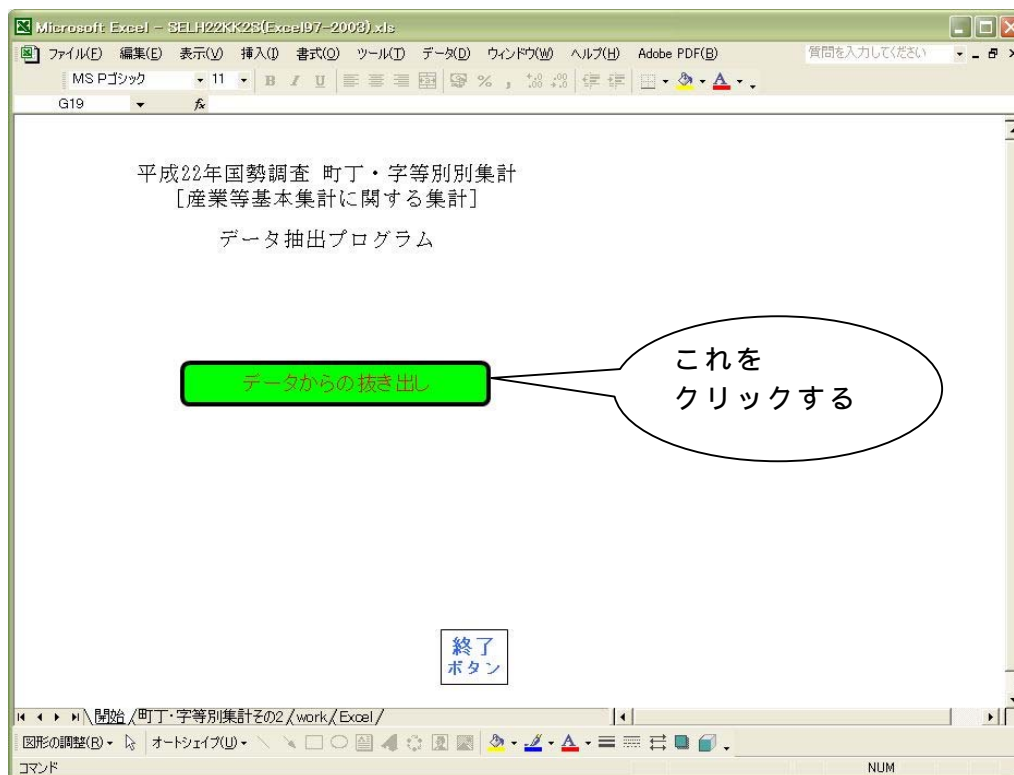
「SELH22KK2S(Excel97-2003).xls」をExcelに読み込んでください。

次のような警告画面が出るので「マクロを有効にする」をクリックする。



この画面が表示されない場合はExcelの「ツール」、「マクロ」、「セキュリティ」でセキュリティレベルを「中」にしてください。

2. 最初の画面で「データからの抜き出し」をクリックする。
クリックすると集計別の項目選択Excelシートが表示される。



町丁字等別集計には、秘匿が含まれている。
(集計項目は次の画面で表示される。ドキュメントでは項目一覧表を参照してください。)

3. Excelシート上に必要事項を記入（キーイン）する。

(1) RIDの選択

ファイルIDから合算地域までの項目のうち、抜き出したい項目には、第1列目（A列）に*（全角、半角いずれもOK）を入れる。また、第3列目（C列）以降の列に抜き出し対象となるデータのコードを記述する。複数ある場合は第4列目（D列）、第5列目（E列）と順次記述する。

(2) 集計数値項目の選択

抜き出したい項目には、第1列目（A列）に*（全角、半角いずれもOK）を入れる。

4. 指標値型CSVファイル等の必要事項を指定する。

指標値型データのデータ抽出 V3

平成22年国勢調査 小地域集計
指標値型データをデータ抽出します

元ファイル 参照

抽出し先ファイル 参照

抽出し先ファイルの種類
 CSV
 Excel
 DBF IV

抽出し最大レコード数 (含む見出し行) 数字以外を入れると対象となったもの全てとします。

もどる 実行

元ファイルの名前 (kkは県番号)
データ: H22KK2Skk.dat

抜き出し結果のタイプを選ぶ。

参照をクリックすると「ファイルを開く」のウィンドウが表示される。

抽出最大数を指定する。全ての場合、「全て」と指定する。

抽出元データと抽出先データ名を指定すると表示される。

ファイルを開く

ファイルの場所(D): H22KK2S01

H22KK2S01.dat

履歴
マイドキュメント
デスクトップ
お気に入り

ファイル名(N):
ファイルの種類(I): 集計データ (*.dat)

開く(O) キャンセル

1. 抽出先データを選ぶ。
名前は町丁字等別集計その1の場合は、[H22KK2Skk.dat](#)である。kkは県番号。ダブルクリックで選ぶ。
2. 抽出し先のデータを選ぶ。
新規の場合は、ファイル名をキーインして開くをクリックする。

「実行」ボタンをクリックして抽出を開始させる。
抽出が終了したら「もどる」ボタンをクリックする。

利用上の留意点

(1) 秘匿について

平成22年町丁・字等別集計での秘匿は、人口または世帯数が極めて少ない地域の集計結果を秘匿する。すなわち、秘匿対象となる地域は全ての集計表において秘匿される。秘匿されたデータは一定の手順に基づいて他の地域（町丁・字等別の場合、原則は直前の地域）に足し上げられ、どこからどこへ足し上げられたのかの情報はCSVデータの秘匿区分、及び秘匿・合算符号に記録している。

(2) 集計データについて

該当数値なしは「-」、秘匿され隠されたデータは「X」としている。

(3) 抽出データについて

抽出先ファイルの種類にEXCELまたはDBFを選択した場合、最大保存レコード数は65536行（EXCEL97-2003およびDBFの最大表示行数）となる。

65536行以上のデータ抽出する場合は抜き出し先ファイルの種類は「CSV」を選択すること。